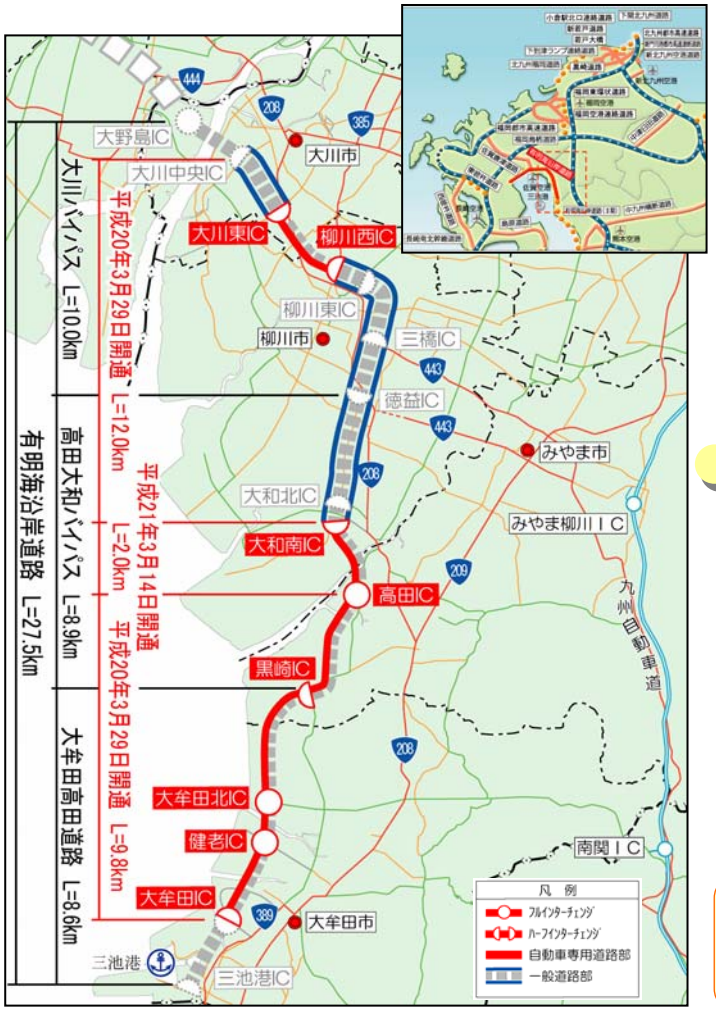
暫定供用してから1年が経過し、地域産業や生活活動への効果が除々に発現

●有明海沿岸道路の暫定供用に伴い、目的地までの所要時間が短縮し定時性も向上。これにより、物流面での搬送活動がスムーズになり、地域産業活動が効率化

●国道208号等の交通混雑が緩和され、生活活動の利便性が向上



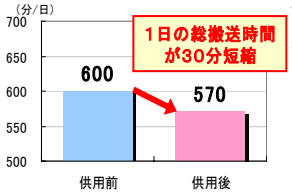
■地域産業活動が効率化

大川の家具生産活動が効率化

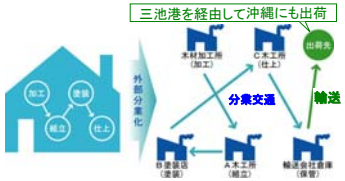
●有明海沿岸道路の供用により大川市内の混雑が緩和され、家具生産を支える分業システムが効率化

●沖縄向けの出荷拠点である三池港への所要時間短縮により製品搬送が効率化し、製品搬送の回数が増加

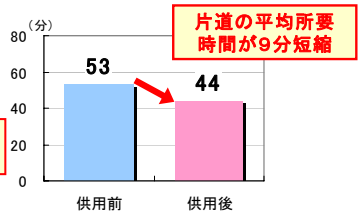
▲分業交通の搬送経路
（出典：企業アンケート調査結果）



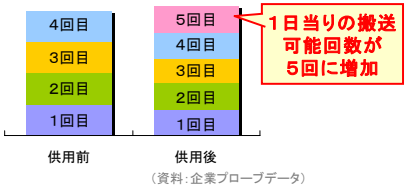
▲分業交通の一日当りの総所要時間
（資料：民間プローブデータ）



▲大川独自の分業システム



▲大川市～三池港間の所要時間（片道）



（資料：企業プローブデータ）

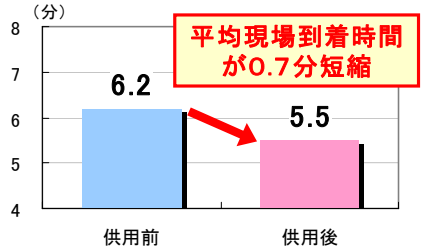
▲1日当りの搬送可能回数

■生活活動の利便性が向上

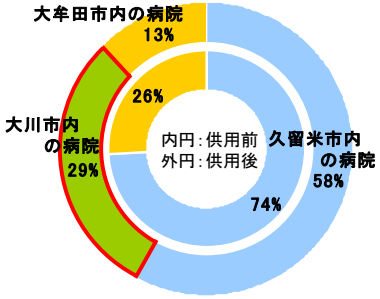
救急医療活動が迅速化

●渋滞緩和に伴う救急車両の走行性向上により、救急出動時の現場到着時間が短縮

●搬送先の病院までの所要時間短縮により、小児搬送先の選択肢が拡大



▲柳川市消防本部の平均現場到着時間



▲みやま市からの小児搬送病院

（出典：各市消防本部救急搬送データ）
※供用前：平成19年中、供用後：平成21年4月～12月

●供用後、国道で渋滞が発生しにくくなり、救急出動がスムーズになりました。また、沿線地区では現場到着時間や病院までの搬送時間が開通前と比べ短縮しました。【柳川市消防本部】

●供用後、搬送病院までの所要時間が短縮したことで大川市内や大牟田市内の病院も搬送先として選択しやすくなりました。【みやま市消防本部】